

大台町の真ん中、地域の交流の場 ～道の駅 奥伊勢おおだい～



「道の駅奥伊勢おおだい」は、三重県多気郡大台町の中心部にある道の駅です。大台町をはじめとした地域の農産物や加工品が揃った直売所と、地域の人が集まる食堂があります。

また、道の駅自身が栽培から出荷までを行っている「道の駅農園」の取組が特徴的です。

今回、開設の経緯や取組内容取材しました。

住所：三重県多気郡大台町佐原663-1

URL：<http://www.okuise-odai.jp/>

アクセス：大台大宮 I C から国道42号線を松阪方面に北上、大台町役場隣

地域センター型道の駅

東海農政局…道の駅の成り立ちと運営主体について教えてください。

道の駅奥伊勢おおい…当道の駅は、平成11年に組合として開業しました。大台町で生産されている主要な農産物は、水稲・茶・イチゴですが、その他の野菜については、この地域は獣害が深刻であるため、専業農家は非常に少なく、庭先農家として栽培している方がほとんどです。そのような方が、農産物を直接販売できる場として開設されました。このような経緯のため、現在でも売り場の面積の多くを農産物コーナーが占めています。

開設後は好評で売上も大きくなったことより、平成16年に組合運営から、現在の「道の駅奥伊勢おおい株式会社」へと運営主体を株式会社に変更しています。大台町と、町内の主要5団体による第三セクターです。

農政局…道の駅にはどのようなお客様が多く来られますか。

奥伊勢おおい…地元のお客様が多く来られる印象です。観光客と地元から来られた方の割合を調査したことがあり、結果は、平日は約7割、土日でも6割の方が地元客でした。道の駅は、地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型と、地域の元気を創る地域センター型の2種類に大別されますが、この道の駅は地域センター型に該当していると思います。

農政局…なぜ地域の方が集う場所になったのでしょうか。

奥伊勢おおい…近隣に市役所などの公共施設や、大型スーパーなどの商業施設が集まる町の中心に道の駅があることが大きな理由だと思っています。

また、私共としても、地域の方に足を運んでいただきやすい運営を試みています。例えば、食堂近くに備え付けである大型モニターでは、他の道の駅では観光情報を流していることが多いですが、ここでは、食堂のモニタリングを食べに來られた方向けにテレビの番組を流している、といった具合です。農政局…地域に寄り添った道の駅なのです。



店内には、地域で生産された農産物がたくさん並んでおり、地域の活気を感じました。



地域の人が集まる「まごころ食堂」

思い思いに生産された農産物が並ぶ



南勢名物の肉厚しいたけ。

訪問日（7月中旬）の色とりどりの地域産の野菜の数々。

（バナナうり、トマト、かぼちゃ）

他にも季節の野菜を中心に多くの野菜がありました！



有機JAS認定を取得した、「やまりん製茶」の商品。

農政局・直売所にはどのような農産物が多いですか。

奥伊勢おくだい・野菜は、季節の野菜を中心に多くの種類が並びます。地域の方が農業を楽しみながら思い思いに栽培をしているため、様々な種類の野菜が並ぶのが特徴的です。

また、茶・イチゴといった特産の農産物も出荷されますが、中でも多いのが椎茸です。大台町や南勢地域では森林が多いため昔から椎茸の栽培が盛んで、肉厚で良質な椎茸が収穫できます。椎茸を目当てに道の駅に来られるお客様もいらっしゃるほどで、椎茸をはじめとしたキノコ類（乾物含む）の売上は、当道の駅で第1位となっています。

農政局・環境にやさしい農業を行っている生産者はいらっしゃいますか。

奥伊勢おくだい・お茶の生産者で1件、有機JAS認定を取得している事業者がいます。また、その他の農産物の生産者にも減農薬栽培を行っている方は多数いらっしゃいます。生産者自身で、商品にそのような表示を行っている方もいます。

農政局・どのように栽培方法を確認していますか。

奥伊勢おくだい・各出荷者には、使用した肥料や農薬などを記載した栽培記録の作成をお願いしており、各自で保管してもらっています。消費者の方から求めがあった場合は提出してもらえようとしています。

道の駅自身が農産物を生産！

農政局…店内で、道の駅農園野菜というポップを見かけましたが、どのような農園なのでしょう。

奥伊勢おくだい…当道の駅の運営主体である株式会社で運営している農園です。特定の農産物と決めずに、様々な農産物を少しずつ生産をしており、収穫されたものは全てこちらの道の駅に出荷しています。

農政局…どのような経緯で農園を始めたのでしょうか。

奥伊勢おくだい…元々私（注：駅長の濱井さん）は大台町内で専業農家を営んでおり、平成26年に駅長の公募に応募して就任しました。また、道の駅農園を始める前から、地域の新鮮な農産物は消費者の方から好評でしたが、年々出荷する生産者や農産物は減少傾向でした。

そういった経緯もあり、町から、道の駅で生産もやってみないかとお声掛けをいただき、町や県からの補助金や、地域おこし協力隊（※）も活用しながら、平成28年度から道の駅が生産から取り組む農園を展開することとなりました。

農政局…現在、道の駅農園はどのように運営していますか。

奥伊勢おくだい…地域おこし協力隊の方が令和2年に退職したため、現在は道の駅の従業員で農園を運営しています。農園専属の方が1名いるほか、私も積極的に農園に関わっています。農園に携わる従業員からは、農業と関わるのは楽しいといった声が聞かれます。東海農政局…道の駅農園の最近のホットな話題はありますか。

奥伊勢おくだい…シャインマスカットをはじめとしたブドウの栽培を最近開始しました。順調に育っておりまして、収穫を楽しみにしています。道の駅へ

の出荷はもちろん、需要を超過している分は他の販路を開拓したうえでの出荷も視野に入れています。

※地域おこし協力隊…都市部から地方に移住し、隊員として自治体の委嘱を受け地域の問題解決や活性化の活動を行う者。2009年から総務省が実施。



道の駅農園では様々な種類の農産物が生産されています



道の駅農園野菜コーナーがありました！

地域の方が集まる食堂と人気バーガー

農政局…食堂にはどのようなメニューがありますか。

奥伊勢おおい…当道の駅の「まごころ食堂」では麺類や定食など、定番のメニューを中心に、可能な限り地産地消を意識して提供しています。

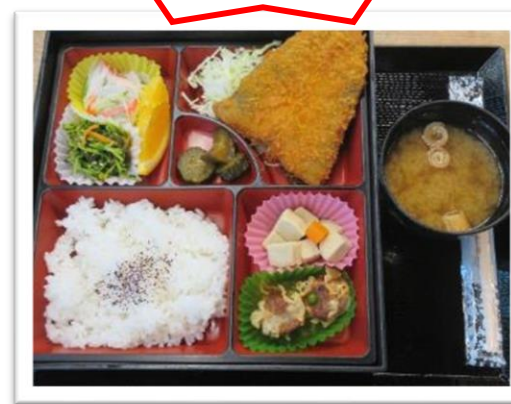
道の駅といえば、ご当地グルメや伝統的な料理を提供する場であるという考えもありますが、当道の駅では、地域の方が利用しやすいようにあえて定番のメニューを提供しています。観光客のための料理は近隣のレストラン等にお任せし、ここでは地域の方が使いやすい、という方向性を持って食堂を経営しています。

一番人気のメニューは、「本日の駅弁」で、地元産の旬の野菜を使ったお惣菜がたっぷり入った日替わり弁当メニューです。一日30食限定で、ほぼ毎日売り切れます。



大台町を一品で味わえるおいしかバーガー。包み紙は町内の小学生が考案したそうで、まさに地域尽くし！

人気No.1



訪問した日の「本日の駅弁」。毎日メニューが変わるため、地域の方に人気です。惣菜コーナーでも販売中！



「本日の駅弁」の惣菜以外にも、地元の産品を使ったお惣菜は地域の人に親しまれています。道の駅イチ押しは、地元産の卵を使ったオムライス。



農政局…地域の方が気軽に立ち寄れる食堂、とても素敵ですね。屋外には屋台もありますが、こちらではどのような商品がおすすですか。

奥伊勢おおい…「おいしかバーガー」というオリジナルのハンバーガーがおすすです。大台町産のお茶を練りこんだバンズ、地元のジビエの鹿肉と豚肉をブレンドしたハンバーグ、地域の野菜とトマトに加え、地元産のワサビの醤油漬けをアクセントにした、大台町の特産品をふんだんに使用したオリジナルのご当地バーガーです。

道11グランプリ2016という、全国の道の駅グルメの祭典にエントリーしたところ、全国各地の道の駅から出品された多数のグルメの中から上位10グルメに選ばれたこともある、自慢のメニューです。

加工品にも大台町の味わいがずらり

東海農政局…加工品ではどのようなものが特徴的ですか。

奥伊勢おくだい…大台町全体で今推し進めて特産化を図っているのが柚子の商品で、お土産としてもイチ押しです。町役場が町内の生産者に苗木を配って生産を推進しており、町内で搾汁して加工まで進めています。現在、町内では約60名の方が柚子を生産しています。

大台町の伝統的な名物加工品では、ぼっちゃり餅やないしょ餅（なべ餅）といった名物餅があり、こちらも人気です。

また、大内山牛乳という、三重県を代表する地元牛乳やそれを元とした乳製品もおすすです。大内山酪農農業協同組合というところが生産をしています。外の屋台ではこちらの牛乳を使ったアイスクリームが売られており、お手軽な甘味として好評です。



ぼっちゃり餅は、あんこが入っていて、ぼっちゃりとしたやわらかい草餅。
ないしょ餅（なべ餅）は、よもぎを練りこんだおもちにあんこを入れ、きなこをまぶしたものの。あまりに美味しかったため、家族や近所に内緒で作って食べていたことが名前の由来と言われる。



取材に御協力いただきました、取締役駅長の濱井さん

ゆず加工品がずらり！
駅長おすすめは、スッキリ飲みやすい「ゆずっこサイダー」



大内山の牛乳から作られた人気のアイスクリーム

農政局…現在の課題と今後の展望について教えてください。

奥伊勢おくだい…努力し続けた甲斐があり、道の駅自体は経営が安定しており、深刻な課題はあまりありません。しかし、大台町では人口の減少が続いているため、これとどう向き合っているのかについては考える必要があります。今後、人口の減少に伴い、近隣の店舗も撤退していくのではないかと思います。そのため、今後のこの道の駅の在り方としては、地元のコミュニティストアのようなイメージになっていくのではないのでしょうか。日用品などの取扱いも検討していきたいです。もちろん、引き続き今の安定した経営のバランスも保っていきたいと考えています。

農政局…ありがとうございます。
(取材日…令和7年7月17日)